



10月 新入学児童健康診断



8月 夏休み工作教室（万華鏡）



5月 田植え

特集

2015年の私へ ～とどけこの思い～

新年あけましておめでとうございます。

市内では多くの方がまちづくりのためや目標を達成するためにさまざまな活動を行っています。今号では2014年に活躍した方の中から数人にお話をお聞きし、その思いを紹介します。2015年が実り多い年となるよう、1年の目標を立ててみてはいかがでしょうか。



8月 登別地獄まつり



9月 登別漁港まつり



9月 消防・救急フェスティバル



登別中学校2年生

早坂 咲さん

昨年8月、『平成26年度登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流団』の1人として、デンマーク王国ファボー・ミッドフュン市を訪問。現地の建築を研修テーマにした。

小学生のとき、交流事業でデンマークの方が学校に来たことがきっかけで、デンマークに興味を持つようになりました。同じ時期、好きな国を調べる授業で北欧について調べ、家の本を見ていたとき、建築物に目を引かれ、実際に自分で見てみたいと思うようになりました。その頃から、家の間取り図などを自分で描いていたので、将来は建築家になろうと決めました。

材を使用しています。

デンマークでの暮らしを体験したことで、日本とは異なる文化や現地の友人、ホストファミリーたちに出会うことができ、デンマークがもっと好きになりました。また、限られた空間を使いやすくし、化学物質を使わず、その土地の気候を生かした家づくりができる建築家になりたいと感じました。

今後は、人が暮らしやすい家の構造を勉強して、建築家の夢に一步近づいていきたいです。



▲デンマークでの生活を支えてくれたホストファミリーとともに（早坂さん・写真左）

暮らしやすい空間を提案できる建築家になりたい

～寄せられたお便り～

『2015年の私へ』というテーマで応募のあったお便りを紹介します

ことしも若々しい気持ちで

富士町 山田満智子さん

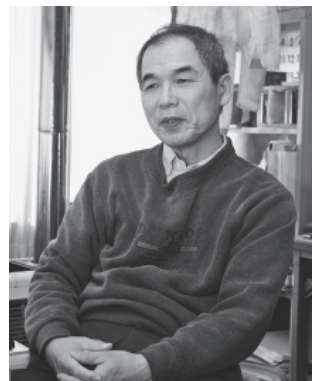
75歳となった現在、私が心から楽しんでいることが、『かるやか体操』です。私は二度も圧迫骨折をしてリハビリをしていましたので、これはいい機会だと思い、老人福祉センターで行われているかるやか教室に参加しました。

教室を卒業後は仲間とグループを組み、月に2回、老人福祉センターに集まり、和気あいあいとラジオ体操やリズム体操、コーラスやゲームをして、あつという間に時が過ぎます。

自宅でも毎日1時間ほど、かるやか体操をアレンジした自己流の体操をしているおかげで、体が軽くなり疲れを感じなくなりました。夕食後は、ノートに名言やことわざなどを書き、日記を書いて過ごしています。

ことしも、体操などを元気に長く続け、若々しい気持ちで暮らしていきたいと思います。

湿原を市民の憩いの場・学習や教育の場に



特定非営利活動法人 キウシト湿原・登別 理事長

堀本 宏さん

登別さけ・ますふ化場の場長を務める傍ら、『キウシト湿原・登別』の理事長として、自然保護活動に取り組む。

キウシト湿原は、自然の環境がまち中に残っている、他にはない特殊な場所で、学術的にもとても貴重です。『キウシト湿原・登別』は、この環境を守るため、湿原の保全・再生活動を行っています。

市民の方でもキウシト湿原にあまりなじみのない方がいますので、ぜひ多くの方に足を運んでいただき、季節ごとに異なる生き物や景観を楽しんでいただきたいと思います。

市民の憩いの場・学習や教育の場としての湿原の活用に重点を置いて活動したいと考えています。

きたいです。その中で一緒に保全について考えることができたいです。

ことしの5月には、キウシト湿原の一般公開が始まります。これを機に、頻繁に観察会などを開催し、市民と一緒に環境保全ができる環境づくりをするなど、市民の憩いの場・学習や教育の場としての湿原の活用に重点を置いて活動したいと考えています。



▲湿原について市民に説明する同会員



登別市総合計画第3期基本計画
市民検討委員会都市調和部会長

部長 正之さん

日本工学院北海道専門学校
の教員を務める傍ら、登別市総合
計画第3期基本計画市民検討委員
会都市調和部会長としてまちづ
くりへ積極的に関わる。



平成26年3月から、市民検討
委員会都市調和部会長として、
平成28年度からの市の施策を示
す『総合計画第3期基本計画』
の策定に関わっています。

部会では、まちづくりや町内
会など、さまざまな分野に見識
のある市民からなる部会員が、
お互いの意見を尊重し合いなが
ら、都市計画などについて活発
に議論を深めています。私は部
会長として、自分の意見も述べ
つつ、勉強させていただくつも
りで、皆さんからの意見を多く
お聞きできるように心掛けてい
ます。

部会員は市職員と同じ資料を
用いて基本計画に盛り込むべき
内容などについて検討しており、
市民と行政との対等な立場での
議論や部会員の多彩なアイデア
によって、多くの課題に気付く
ことができます。施策を実施す
るに当たって困難と思われるこ
とについても市民と市職員がと
もに考え、それぞれの立場から
意見を出しています。

部会での議論は、私自身に
とっても良い勉強の機会となっ
ており、より広い視野でまちづ
くりについて考えられるようにな
りました。ことしは部会での
議論を工學院の学生たちにも伝
え、人口減少や子どもの貧困対
策など多様な問題をどのように
解決するか、自ら考え行動でき
る学生を育てたいと思います。



▲第1回市民検討委員会都市調和部
会

自ら考えることのできる学生を育てたい



鷺別中学校3年生
中里 勇斗さん

平成11年、室蘭市生まれ。
現在、鷺別中学校の3年生。登
別誠有館有櫛道場で柔道の練習
に励み、昨年8月に行われた第
45回全国中学校柔道大会の個人
戦で全国優勝を収める。



夢はオリンピックで
優勝すること

4歳のときに柔道を始め、平
成26年、中学校生活最後の大会
で4度目の全国優勝を飾ること
ができました。

柔道を始めた頃は厳しい練習
がいやでしたが、小学2年生の
ときに全国優勝してからは、大
きな目標に向かって常に挑戦し
続けられることが楽しく、柔道
にのめり込みました。

スランプに陥り、柔道をやめ
たくなったこともありましたが、
道場の先生から「ここで柔道を
やめれば、ひとつの事を乗り
切っていないのだから、他の事
をして中途半端になる。ひと
つのことをやり遂げることが大
切だ」との励ましを受けたおかげ
で、今まで柔道を続けること
ができました。

昨年
の全国大会出場に当たっ
ては、高校生と一緒に練習する
などして準備をし、絶対に優勝
するとい
う気持ちで臨みました。
大会前には家族や同級生からの
応援を受け、遠征先などでも多
くの方のお世話になりました。
練習量は誰にも負けないと思っ
ていたので勝てる自信はありま
したが、優勝したときには、気
持ちはほっとしました。

ことしは、今まではあまり使わ
なかった投げ技を強化し、高校
の大会でも上位を狙います。夢
はオリンピックで優勝すること
で、これから一生、柔道に携
わっていきたいと思っています。



▲道場での練習